

平成30年度佐賀県緑化運動・育樹運動ポスターコンクール審査会(講評)

【全体】

- ・植物やそこに住む生きものたちを丁寧に根気強く描いてあり、愛情が伝わってくる作品ばかりでした。
- ・今年の作品は、絵画的なもの、イラスト風、構成を練ったもの、中にもコラージュのみで制作されたものがあり審査が難航した。その中でも個性的、力強い作品が上位に上がってきたと思う。
- ・緑色と茶色は絵画制作の中で最も難しい色であるビリジアンやライトレットの色をそのままつかわずに混色し、落ち着いた色にするともっと作品がよくなるだろう。
- ・実際に地域に生育している大樹などを表現した作品から空想の世界を表現した作品まで、子どもたちの豊かな感性で緑化や育樹をイメージした絵がたくさん応募されており、その表現力の素晴らしさに感心しました。

【最優秀賞(小学生の部)】

- ・大木の緑がとても鮮やかです。それを見上げる二人の後ろ姿の動きがとても自然で躍動感がありました。
- ・力強い作品である。堂々としていて迫力があり大きくみえる。人物の気持ちも上手に表現できており好感がもてるよい作品である。
- ・大樹を見つめる子どもたちが描かれており、木の生命力を感じさせる色使いで遠近感のあるとてもよい作品でした。

【最優秀賞(中学生の部)】

- ・色使いが独特で、どこか神秘性をただよわせる木の秘めた力まで表現しているような深みのある作品でした。
- ・色彩感がよい薄塗りの作品であるが、色づかいで独特の世界観をつくり、見るものを引き込む力をもっている作品である。
- ・樹木を中心に明るい色調でみんなの力で優しく育てる樹木が表現されており、表現力豊かなよい作品でした。

【最優秀賞(高校生の部)】

- ・色使いがとても美しく、透明感があり深みのある色彩と、少年の安心している表情がとても印象的な作品でした。
- ・県内高校生の中でも、際立った描写をもっている生徒だと思われる。描画に隙がなく完成度が高い作品である。
- ・樹木の上から新芽が生えていることで、どんなところにも木が増えるようにということを表現されており、動物や少年の笑顔が印象的なとてもよい作品でした。